

# 第9回新庁舎建設検討委員会 資料

別紙1 新庁舎建設基本計画(素案)に対する意見・要望等と市の考え方

平成30年2月5日(月)

庁舎建設準備室



# ● 提出のあった意見・要望等と市の考え方

No	提出のあった意見・要望等	市の考え方
1	<p>P30 他市との比較について 他市よりも安価だから、妥当とする理論は成り立たない。人口減を念頭に置いた必要最小限の計画とすべきなのではないか。</p> <p>P31 必要駐車場台数の算出について 窓口部門の必要台数について、コンビニエンスストアで住民票の写し・印鑑登録証明書が取得できることによる来訪者の減少を考慮すべきではないか。</p> <p>P35 建設費用について 庁舎建築費 坪単価145万～191万円 は 相場以上の価格ではないか 美術館のような施設を作る必要はない 因みに すみだ北斎美術館の建設計画 坪単価180万円という計画でさえ、税金が捨てられると非難が上がっている。</p>	<p>他市との比較は参考事例として重要と考えます。市で策定した総合戦略における人口ビジョンや行政改革大綱のアクションプランである職員定員管理計画との整合性を図り、施設規模などの省スペース化を進め、建設コストの縮減に努めることとしています。</p> <p>駐車場規模については、市民や団体から現行台数からの増加を求める意見をいただいておりますので、混雑を緩和し、利用者の利便性向上を図るため、現行の来庁者用駐車場93台を37台増の130台分を目標とします。なお、現時点では来庁者減少を見込むことは難しいと考えております。</p> <p>建設費用については、今後様々な変動要因が想定されることから、他都市の事例を参考に概算費用として、算出しています。</p>
2	<p>新庁舎は全国から大勢の人が楽しみに訪れる、全く新しい機能を持った庁舎を希望します。</p> <p>①大雪で有名な岩見沢ならではの庁舎 新庁舎には、北海道及び岩見沢の主要幹線道路の国道12号線、この道路が、どか雪・大吹雪等で通行できなくなった時、道路に取り残された人達の避難場所として活用できる機能を持った庁舎を希望します。</p> <p>②岩見沢を世界に発信できる庁舎 新庁舎に来ると、岩見沢の特産品・歴史・人々等岩見沢の全てがわかる機能を持った全国で初の道の駅機能が入った庁舎の駅、そこには、岩見沢から世界を目指す人達、可能性を秘めた人達、岩見沢から日本いや世界に通用する人・物を発信したい人達のために、タタミ1枚から2枚程度のIT機能が設備された、ボックスを50～100程度設置して、特産品や新規事業(ベンチャー)を発信・発表できる場所を作ってほしい、(これは岩見沢の人口減少を解消できる可能性を秘めている)これらはこれからの庁舎に必要な機能だと思います。これらの機能を持った庁舎を切に希望します。</p>	<p>新庁舎建設にあたっては、市民の安全安心を守る拠点として必要な機能を整備します。また、避難場所の機能については、既存の公共施設等を活用できるものと考えます。</p> <p>情報配信については、様々な情報配信が必要と考えますが、特産品や新規事業の発信・発表施設や道の駅との複合化は難しいと考えます。</p>
3	<p>中央小のあと地が便利という仲間が多かったが、市では現住所の考えだと。バス1本で行けるのが中央小あとの利便、まち中なので出たついでに買物も出来るのも主婦の魅力。</p>	<p>利用実態を考慮した効率的で利用しやすい公共交通を目指し、昨年、市内バス路線の見直しを行いました。現在、まちなかでの移動の利便性をさらに高める取組みを検討しています。</p>

# ● 提出のあった意見・要望等と市の考え方

No	提出のあった意見・要望等	市の考え方
4	<p>●スペース            臨時窓口、会議室、市民交流ホール、災害対策本部会議室などは平常時には、多目的なユーティリティースペースとして、臨機応変に様々な用途に活用できるような設計、デザインにすることが望ましいと考える。            市民交流ホールについては、喫茶、軽食などのサービスのほか、災害時には一時的な避難スペースとして活用できる機能があることが望ましい。            待合スペースはユニバーサルデザインの観点から、キッズスペースのほか託児機能も付加してはどうだろうか。            ※会議の出席者が子供連れの場合、子どもさんを一時的に託児することも考えられる。(保育員は主催者が用意)            ペット(犬)を連れての来庁者に対応するため、係留施設(リードポールやゲージ)の設置も考慮していただきたい。</p> <p>●周辺環境との調和            外観のデザインは、周辺環境にマッチしたものとし、緑を十分に生かしたものとしていただきたい。</p> <p>●環境負荷低減            再生可能エネルギーの利用は、将来を見据えて重要なポイントとなる。</p> <p>●事業方式            調達方法の選択の際は、透明性を十分確保していただきたい。</p>	<p>各種スペースについては、多目的に有効活用ができるよう検討していきます。いただいた意見を踏まえ、様々なニーズに対応できるよう庁舎として必要な機能を整備します。また、避難スペースについては、既存の公共施設等を活用できるものと考えます。</p> <p>周辺環境との調和や環境負荷低減については、基本計画(素案)のとおり検討していきます。</p> <p>事業方式については、5つの評価項目のメリット・デメリットを検証のうえ、透明性を確保し、進めていきます。</p>
5 の ①	<p>12～16ページ            A 高い市民サービスを実現する庁舎            (1)市民サービス機能を庁舎から分離して中心街に置き、中心街に以前移した教育委員会などは庁舎に戻す配置転換を行って新庁舎を完全な執務用の建物にはできませんか。            第7回庁舎建設検討委の資料を拝見しましたが、中心街(およびそれに近い場所を含む)への移転を望む意見が多く出ていた事と、中心街に近い候補地である中央小跡地が選定に際して安全性の評価で0点となっている事の二点から、現在地と中心街で意見が二分された中で建設地を現在地とした決め手は災害時の安全性であると解釈しています。            そうであれば平時のための市民サービス機能については必ずしも新庁舎に設置する必要はないという見方ができます。また市議会のある会派が新庁舎に関して独自に市民にアンケートを取っていましたが、それによると市民の来庁目的は窓口での手続きが約8割を占めるとの結果も出ています。この点から、窓口を中心とした市民サービス機能さえ中心街に置かれれば、移転派だった市民も大半は現在地での建設に納得するのではないのでしょうか。            検討委の資料においても、中央小跡地・公募で提示された中心街各所ともに利便性は現在地と同等と評価されており、自家用車による来庁者にも著しい不便を強いる事はありません。窓口機能のみの移転であればコミュニティプラザやであえーるなど広いフロアを有する市施設が既にあるため、これらの改修で十分な受け皿になりうると思います。駐車場についても窓口利用者に対して料金を割引するなどソフト面での施策で対応可能です。</p>	<p>当市は、市町村合併により、公共施設等の保有量が増加したことから、施設配置や利用状況を踏まえ、保有量の適正化を図るため、「であえーる岩見沢」に教育委員会や子育て、健康づくり施設の集約を進め、拠点施設として相乗効果を高めてまいりました。</p> <p>施設機能を明確にすることで、「であえーる岩見沢」は、関連する行政機能と交流機能をあわせ持つ市民交流施設として、一定の成果が表れておりますので、現状での施設機能を継続することが望ましいと判断しております。</p> <p>現在、市の市民サービス窓口は、本庁を中心に支所、各サービスセンターを地域に配置しているところです。現状の公共施設の有効活用を考えると本庁舎を拠点として、サテライトとなるサービスセンターの機能強化などを図り、利便性を高めていく必要があると考えております。</p>

# ● 提出のあった意見・要望等と市の考え方

No	提出のあった意見・要望等	市の考え方
5 の ②	<p>また中心街は各方面からの公共交通が集中しており乗り換えなしでアクセスできる事と、先に挙げたように市民の来庁目的の大半が窓口での手続きである事を鑑みると、市議会等で言及のあった交通弱者対策の循環バスも導入取り止め、もしくは経路・便数を縮小できるため、それに係る経費が節減できます。さらに、一部機能を庁舎外へ分離する事による規模縮小(=建設費圧縮)、既存公共施設の空きフロアや稼働率の低い貸館の転用による有効活用、有明交流プラザのサービスセンターとの一本化による人件費削減などメリットは多岐に及ぶと考えられます。</p> <p>(2) 庁舎内にホールやギャラリー、会議室などの貸館は必要ないと思います。</p> <p>こうした類いの施設は高齢者福祉センターや市民会館、広域総合福祉センターなど現庁舎近隣だけでも複数あります。これに加えて中心街のコミュニティプラザや生涯学習センター、日の出台・南町・幌向など主要住宅地のコミュニティセンター、栗沢の市民センター、北村の環境改善センターなど、貸館は既に市内各所に十分に整備されており、人口増加の見込みもなく減少速度を抑えるので手一杯の岩見沢にこれ以上の新規整備は過剰としか思えません。ホールや会議室などの貸館を安易に設けたところで、稼働率が低迷し閑散とした空間を生むだけなのは明白です。</p> <p>どうしても庁舎を市民の集う場所としたいのであれば、食堂や売店といった職員の福利厚生施設の一般開放(現庁舎も開放されてはいるが、薄暗い地下にあるため市民には近寄り難い空気がある)を軸に、国道12号線との近さを活かして商業テナントを募集するといった民間によるサービスの活用が望ましいと思います。</p> <p>たとえば大手のコンビニや書店、カフェなどは図書館や病院といった公共施設に出店した事例が全国各地にあります。また近年では公益目的(例: 買い物難民対策など)であれば商業施設の公設民営が世間から容認されつつあるので、費用を投じるにしても稼働率の期待できない貸館よりはずっと有意義な用途だと思えます。</p>	<p>利用実態を考慮した効率的で利用しやすい公共交通を目指し、昨年、市内バス路線の見直しを行いました。現在、まちなかでの移動の利便性をさらに高める取組みを検討しています。</p> <p>市民ギャラリーや市民交流スペースなどの市民利用スペースについては、市民からの要望のあった事項ではありますが、その他の施設機能を含め、ご意見を踏まえ、設置の有無を検討していきます。</p>



# ● 提出のあった意見・要望等と市の考え方

No	提出のあった意見・要望等	市の考え方
6	<p><b>●市民サービス機能</b>            新市庁舎において、現在地においては交通の便や立地を考慮に入れたとき、「誰も」が利用しやすい市民サービスの場にはなり得ない。特に高齢者や車に乗ることのできない人たちが利用するにはハードルが高いと思われる。そのため対面型の市民サービスを提供する場合は、現時点でバス路線が集中する「であえーる」など中心市街地へ機能を移転し、市役所庁舎には現岩見沢駅にあるような最低限の人員を残し、タッチパネル式で自身で発行するような電子発行システムを採用すると良いと思う。なぜならば車で移動することを厭わない世代は比較的若い世代であり、警察署でも免許更新に採用されているようなタッチパネル型には抵抗が少ないと思われるからである。</p> <p>また岩見沢がICTの技術をもってまちの特徴とするなら、他の自治体に先んじた市民サービスの取り組みにつながるであろうし、なかなか加入が進まない住民基本台帳カード加入への誘導もできると思われる。</p> <p>この住民基本情報の電子取得には個人認証としての住民基本台帳カードの機能に大きく利することがあり、市役所だけでなく公共施設の利用にも住民基本台帳カードの利用を拡張することができ、サーバーによる管理をすすめることで、ICTのまちの面目躍如となるだろう。また、行政として現在の市民生活における行政サービスの利用状況など様々な把握が進むと考える。</p> <p>また市民生活に関わる書類を発行するサービスを担当する課だけでなく、市民連携室など市民と関わりの深い部署もまちなかへ移転することで、より「顔の見える連携」が進むと考える。このままでは市役所に顔を出すことを厭わない一部の人たちだけとの連携が進むだけで、連携ハブの機能拡大にはつながらない。</p> <p>他にも健康宣言都市岩見沢の肝入りとして開設された「健康ひろば」への利用促進の一環として、市民連携に関わる行政職員自らが利用することによって、自らの体験を基にしたPRによる市民への周知拡大も行うことができると考える。「顔の見える市民連携」こそが、今後の岩見沢のまちづくりには必要となる。</p> <p><b>●防災機能</b>            今後起こりうべき災害に備えて、水のつかない、活断層を避けた場所としての現地を選択したのであれば、通常は必要以上の市民があつまるのを避け、すぐさま防災や災害救助、市民保護の機能を発揮できるようにする必要がある。そのため新市庁舎には生活インフラや統治機能、行政機能にかかわる部署のみを残すだけで良い。</p> <p>そのため空いたスペースには万一に備えた食料貯蔵庫や市民が集まって寝泊まり、休憩することができる部屋が必要であり、近隣国からの軍事行動リスクを回避する観点からも地下シェルターなどの設備が必要であろう。</p> <p>またいざというときのために駐車場もしくは公用車駐車をヘリポートとして利用できるような機能も必要と思われる。</p> <p>新市庁舎建設に際して、これを機会にどうかたちで行政が市民とコミットしていくのかを考えてほしい。市民連携と市民サービスなど市民と面と向かって進めていく部署は、公共交通が集中する中心市街地へと出城を築き、本丸たる新市庁舎では来たるべき災害に備えた機能を有することで、両方の面から市民生活を見守ることができるのではないか。</p> <p>それに加え新市庁舎の防災機能を確認するためにも、一年に一回の市民参加型の防災訓練も必要となろう。いざというときに市民が頼りにできない、集まらないのでは、なぜ建設地の選定に際してあれほど防災を謳った新市庁舎なのかという疑問が当然湧いてくるであろう。</p> <p>なお蛇足ではあるが、現時点で稼働している岩見沢駅内の市民サービスセンターは、であえーる内に市民サービス課が移動してきた折には統合し、空いた場所には観光協会を入れ、現観光協会地にはパーテーションを区切って市民が会議に使ったり、集まって話し合いができるようなサロンの場とするのが良いと思う。</p>	<p>現在、市の市民サービス窓口は、本庁を中心に支所、各サービスセンターを地域に配置しているところですが、現状の公共施設の有効活用を考えると本庁舎を拠点として、サテライトとなるサービスセンターの機能強化などを図り、利便性を高めていく必要があると考えております。</p> <p>防災・災害復旧は、一部の部署が行うのではなく、市役所組織全体により実施することが必須です。庁舎は避難所機能を有する施設でないことから、庁舎との連携は必要であります。庁舎建設とは別に整備を進めていく必要があります。</p>

# ● 提出のあった意見・要望等と市の考え方

No	提出のあった意見・要望等	市の考え方
7	<p>P15 市民利用スペース 記載のある市民ギャラリーなど、個々のスペースは必要ないと思うが、市民の待合スペースを多目的に利用するなど、有効に活用できる多目的スペースとしての整備が望ましい。</p> <p>P22 ユニバーサルデザイン 具体的な計画を立てる段階で、関係団体の意見を聞くべきと考えます。</p> <p>全体 個別に市民利用に関する事などテーマを決めて意見集約を行うなどの工夫が必要と思います。</p>	<p>各種スペースについては、多目的に有効活用ができるよう検討していきます。いただいた意見を踏まえ、様々なニーズに対応できるよう庁舎として必要な機能を整備します。</p> <p>ユニバーサルデザインは、他市事例のほか関連する団体からの意見も取り入れていきたいと考えております。</p> <p>各種テーマを定めた意見集約を行う手法などを今後検討し、市民意見を取り入れていきます。</p>
8	<p>P15 2-1 市民ギャラリー等は敢えて市役所に行かなければ観賞できないというのではなく、何かのついでに気軽に観られて、あるいは本展示が市民会館で行われているものの宣伝とかアンテナ的に展示するものが良いと思う。単独に、それ用に整備するものは必要性を感じない。また、2-2の会議室の市民利用は他の施設もあることから、保安上の面も考え開放しない選択肢もあるのではと思う。2-3の売店はサービスが悪くないと率直に感じているので、検討をお願いしたい。2-4の市民交流ホールは多目的にロビーなどを開放することで可能と思い賛成する。</p> <p>P30 適正規模が表示されているが、あまりケチらずある程度の面積は必要では？</p> <p>P38 事業方式は市役所というこれからまた50年以上は使う施設ということもあり、地元の業者が何かにつけ維持管理に携わることができやすい面からも従来の発注方式で地元企業が参画する方がよいと思う。 ※余り市民の意見を聞くことばかりにこだわらず、市が率先して進めて構わないのではないだろうかと思っています。</p>	<p>市民ギャラリーや市民交流スペースなどの市民利用スペースについては、市民からの要望のあった事項ではありますが、その他の施設機能を含め、ご意見を踏まえ、設置の有無を検討していきます。</p> <p>庁舎規模については、将来に過度な負担を残すことのないよう、華美とならず必要最低限の規模を念頭にコンパクト化が必要と考えます。</p> <p>事業方式については、5つの評価項目のメリット・デメリットを検証のうえ、透明性を確保し、進めていきます。</p>
9	<p>全て読ませてもらい、全体を通し同意します。 只、今の建物は耐震性が無い建物ということなので、一刻も早く着手し、一日も早い完成を目指していただきたいと思います。その為には、余り市民の意見ばかり聞いてはいけないのではないのでしょうか？気にせず早急に進めるべきです。応援してます。</p>	<p>市民の安全と安心及び市民生活を守る総合的な災害対策の拠点として早期整備を図っていきます。 市民が利用しやすく、親しまれるような庁舎を目指し、限られた期間の中ではありますが、市民の皆さんと情報共有を図りながら、進めていきたいと考えております。</p>

# ● 提出のあった意見・要望等と市の考え方

No	提出のあった意見・要望等	市の考え方
10	<p><b>A 市民サービス機能</b>            &lt;窓口機能について&gt;            ●複数の手続きをする場合、関連性のある窓口が近くに配置してあるとか、『ワンストップサービス』が可能になるよう工夫してほしい。            ●プライバシーに十分配慮した窓口カウンターの配置等、すぐ隣接するカウンターから離れて相談できる等の検討。</p> <p>&lt;市民利用スペースについて&gt;            ●多目的に利用できるスペースや市民交流ホールの設置は、一見良い案に聞こえるが中途半端なスペースにならないよう検討してほしい。「市役所だからこそ…」活用できる目的や企画が不十分だと、せっかくのスペースが無駄になりかねない懸念がある。(「まなみーる」や「いわなび」で可能)</p> <p>&lt;情報発信機能&gt;            ●市民に開かれた庁舎として、情報を提供することはとても大事な要素だと思う。議会情報の発信にもかかわる点で、傍聴が叶わない時、またパソコンがない方にとっては、議会の内容やライブを視聴することはできないため「議会だより」が唯一の知る手段となる。議会情報発信の環境整備と相まって、ロビーかスペースの一角で例えば、議会ライブを視聴できるとか録画を視聴できるようになれば、より議会が市民に近くなるのでは。</p> <p><b>B 執務機能</b>            この素案には記載されていないが、職員の休息休憩時間の快適空間づくりも、仕事の質向上にはぜひ必要と思う。</p> <p><b>D 地域特性を活かす環境配慮型の庁舎</b>            ●地域特性とは？豪雪地帯の積雪を、例えば夏の冷房に活かすとか…ということなのでしょうか。自然エネルギーを快適に取り入れ、なおかつ照明、換気、暖房面の環境負荷を軽減できる庁舎であるよう望みたい。素案ではまだイメージだけなので、具体化してほしい。</p> <p><b>E 誰もが利用しやすい庁舎</b>            ●今の建築物は、ユニバーサルデザインやバリアフリー化の導入は必然のことであり、専門分野の意見等を十分取り入れて完全実施してほしい。</p> <p>第6章 施設設備計画            4 新庁舎の適正規模            ●配置イメージ3案(ABC)のなかで、『堆雪スペース』とあるが、冬季以外はどのようなスペースとなっているのか、緑地？という意味でとらえてよいのか不明な点。            ●冬季ある程度は優先的に除排雪できれば、A案B案の堆雪スペースはこれほど必要なのか？ちょっと疑問。            ●現来庁者用駐車場を4割程度増やす案ですが、ここには一般職員の駐車スペースが示されていないため、現在の職員駐車場を考えるとある程度のスペース確保が必要ではないかと思う。公用車スペースに含まれるということか不明。</p> <p>※ともかく合併特例債を活用するにしても莫大な建設費がかかるわけで、将来を見据えて計画しているものの借金を抱えることに違いはなく、新庁舎の3つの基本方針を貫徹できる建築物であってほしい。</p>	<p>市民サービス機能については、いただいた意見を参考に、庁舎として必要な機能を確保しつつ、市民が利用しやすい観点で、時代の変化に対しても柔軟に対応していけるような庁舎を目指していきます。</p> <p>議会ライブ配信は、現在も議会開催時に1階ロビーにて配信しておりますので、新庁舎においても継続を図っていきます。</p> <p>職員の休養室など労働安全衛生規則等に基づき整備してまいります。</p> <p>地域特性を活かす環境配慮型の庁舎については、積雪寒冷地域である岩見沢の特性を生かした自然エネルギーの導入を検討しており、維持管理も含めたトータルコストを比較した中で最善の設備を選択していきたいと考えております。</p> <p>ユニバーサルデザインやバリアフリー化は、他市事例のほか関連する団体からの意見も取り入れていきたいと考えております。</p> <p>新庁舎の配置イメージにおける堆雪スペースは、緑地や職員駐車場などの活用を想定しており、規模については、基本設計段階で決定していきます。            なお、堆雪スペースを利用し、職員駐車場を確保していきます。</p>



# ● 提出のあった意見・要望等と市の考え方

No	提出のあった意見・要望等	市の考え方
11	<p>新庁舎のユニバーサルデザインは、十二分に検討して対応していただきたいです。面積は職員の頭数で割り返されることから大きめな印象になるかもしれませんが、公共部分が広くなれば当然のことだと思うので、担当の方々には頑張っていただきたいと思います。</p> <p>また、オープンフロアのオフィスは、見通しが効くことから利点が多いとは思いますが、職員との打ち合わせやミーティングを行うスペースを取ってもらいたいと思います。仕事の関係上よくお邪魔しますが、書類の説明や相談などを受ける際、新庁舎ではセキュリティの対応も成され、気軽に挨拶などで職員間を回ることも難しくなるものと思います。他の職種の関係者もそうであろうと想像しますので、何卒検討をよろしく願います。以上です。</p>	<p>ユニバーサルデザインは、他市事例のほか関連する団体からの意見も取り入れていきたいと考えております。</p> <p>打ち合わせやミーティングスペースについては、各部署からの意見を参考に必要数を設置していきたいと考えております。</p>
12	<p>P7 老朽化や耐震性の問題から、庁舎の建て替えの必要性については百パーセント同意します。</p> <p>P12 市役所を利用する市民と市役所で働く職員が、それぞれ別の動線で動けるようにしてほしいと思います。また、税金の申告や生活保護の窓口が人であふれ、廊下を通れないこともあるので、新しい庁舎ではそのような事が起こらないよう工夫して頂きたい。</p> <p>P13 待合スペースは、書類の手続きを行うための待合と休むことが出来るロビー的なスペースを分けて整備して頂けるとよろしいと思います。</p> <p>P14 来庁者の駐車場等は、他の車の移動の邪魔になるような止め方をする車を排除できるような工夫をして頂きたい。また、職員が職務で車に乗る場所と市民が乗降する場所が分かれているといいと思います。</p> <p>P18 議会に関連する部分で気になるのが、日々業務を行っている職員のスペースは節約気味に取り進めようとしているのに、議会は全くその記述がありません。議会の定員数や議員活動のスペース、議場の大きさも、人口減少を見据え、定員数の削減も考えられるものと思いますので、議会も省スペース化に取り組むことを明記していただきたいと思います。</p> <p>P19 災害の時の為の備蓄品倉庫等を新しい庁舎の中に組み込むのは、不経済であると同時に、余り意図が理解できないので反対です。別棟の倉庫や他の施設を上手に使うことの方が現実的だと思うので改めていただければと思います。</p> <p>P21 自然エネルギーの利用は流行りのように取り組みがなされ、これに取り組まないと悪のようなイメージが先行しているように感じます。技術は未だ発展途上の段階で、現時点で過度な投資は個人的には疑問があります。そんなことより、夏場の暑さは異常とも思えるので、空調の設備を設けることのほうが現実的なのではないでしょうか？</p> <p>P33 新しい庁舎のイメージとして、3つのイメージが示されていますが、基本的にはA案かB案のイメージだと思いますけれど、A案のイメージの中にある堆雪スペースという場所に庁舎を建てるのもありかなと感じました。</p> <p>P39 事業手法の選択肢の中で記述のあるDB方式は、地元の建築業者で対応できるのでしょうか？できるのならいいですが、結局大手ゼネコンがやることになるのではと思います。地元企業の参画は重要な要素だと思いますので、38ページに記載のある通り、地域経済への波及効果を考えていただきたいと思います。</p> <p>P41 資金繰りの問題があるので仕方がないのかもしれませんが、設計期間と施工期間が余りにも短い気がします。可能な限り長い期間を持てるよう考えていただきたいです。</p>	<p>市民が利用しやすいよう、市民と職員の動線や車の乗降の分離や、待合スペースの配置などを検討していきます。</p> <p>また、簡素で経済性と機能性に優れた観点で検討していきますので、議会スペースや備蓄倉庫なども他のスペースと同様、必要最低限の規模を念頭にコンパクト化も必要と考えております。</p> <p>地域特性を活かす環境配慮型の庁舎については、積雪寒冷地域である岩見沢の特性を生かした自然エネルギーの導入を検討しており、維持管理も含めたトータルコストを比較した中で最善の設備を選択していきたいと考えております。</p> <p>配置計画については、現庁舎正面側又は裏側に建設した場合のイメージ図を記載しておりますので、ご意見にあるような場所も含め、基本設計において決定していきます。</p> <p>事業方式については、5つの評価項目のメリット・デメリットを検証のうえ、透明性を確保し、進めていきます。</p> <p>事業スケジュールについては、他市に比べ、設計期間が短いところがありますが、限られた時間の中で、効率よく進めていきたいと考えております。</p>

# ● 提出のあった意見・要望等と市の考え方

No	提出のあった意見・要望等	市の考え方
13	<p>● 市民の安全安心な暮らしを守る拠点となる施設 ● 総合的な防災・災害復旧の拠点となる機能を備える。 2017年9月の広報誌にあるように、岩見沢には市内を縦断する3本の活断層帯(石狩低地東縁断層帯)がある。熊本地震を検証した場合、岩見沢市は防災拠点を1か所に集中させるのではなく、防災拠点を広範囲に広く分散させた方がよいと思う。ちなみに熊本地震において現行の耐震基準での「免震装置」は、『巨大な長周期地震動に対応していないので、免震構造の病院の免震装置が破壊されて機能していないことが判明している。』</p> <p>● 建設においては、市民が利用しやすい ● 簡素で機能性と経済性に優れる。 市庁舎の機能を分散させるなら、現庁舎の場所と市内中心部にある市の施設に機能を分散すれば市民が利用しやすいし、万が一の災害時の時にリスクを分散できる。また、市が所有する「コミュニティプラザ」「自治体ネットワークセンター」「新産業支援センター」「テレワークセンター」など、市が10年以上に渡って施設の運営に年間1億2千万円以上の管理委託料を拠出し、事実上の穴埋めをしてきた問題の解決策となるだろう。</p> <p>● 時代の変化に柔軟に対応できる。 『人口約16万人の栃木県栃木市は、ビルの1階に東武百貨店、2階から上は市役所。異例の同居は街のにぎわいを取り戻す官民一丸の試みだ。人口が減る中で新庁舎を造るのは難しいと判断して、財政負担の軽い中心市街地の既存ビルへの移転を選んだ。』『「省エネと同じ、省インフラの発想が大事」と東洋大学教授の根本祐二。「資産を身の丈に合わせて減らす。残すなら価値を最大限に引き出す。カギを握るのは民間の活用だ。』 これから道路や橋、上下水道・施設など社会的インフラの維持管理費用に市民の税金がつき込まれる。「必要なモノと不必要なモノ」を市民と一緒に考えて考え直す時代になって来ている。減りゆく人口を見据えた柔軟なインフラ対応が地域の未来の盛衰を決定づける。</p>	<p>防災拠点の分散や構造方式については、ご意見として承ります。</p> <p>現在、市の市民サービス窓口は、本庁を中心に支所、各サービスセンターを地域に配置しているところ。現状の公共施設の有効活用を考えると本庁舎を拠点として、サテライトとなるサービスセンターの機能強化などを図り、利便性を高めていく必要があると考えております。</p> <p>民間の活用事例については、ご意見として承ります。</p>
14	<p>現在地での建て替えが決まってよかったと思っている一人で建築関係の仕事をしている者です。 計画書の中で、構造の種類についての記述がありましたが、私は通常の耐震構造で十分だと思っています。 敢えて工事費が高くなるのが間違いない免震構造などは、今の場所で建て替えるならば必要が無いと思いますので、基本計画書にてそのようにまとめることを要望しパブリックコメントとします。</p>	<p>構造方式については、いただいたご意見のほか、地質調査等の結果を踏まえ、それぞれの特性や事業費コストなどを検証したうえで、基本設計段階で最適な方式を決定していきます。</p>

# ● 提出のあった意見・要望等と市の考え方

No	提出のあった意見・要望等	市の考え方
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民ギャラリー」について ギャラリースペースを広く採った結果、窓口業務や来庁者対応に影響が出るのはいかがか。</li> <li>・「会議室等の市民利用」について コンパクトな庁舎を求められている中、市民が利用できる会議室等を用意すると、業務に支障が出ないか懸念される。</li> <li>・「市民交流ホール」について あくまで手続や相談のために来庁した方を想定したもので十分と考えます。</li> </ul>	<p>市民ギャラリーや市民交流スペースなどの市民利用スペースについては、市民からの要望のあった事項ではありますが、その他の施設機能を含め、ご意見を踏まえ、設置の有無を検討していきます。</p>
16	<p>【臨時窓口について】 臨時的でかつ一時的に集中して受付を行う手続きの対処法として、臨時窓口が挙げられていますが、カッコ書きの具体的な表現までしなくてもいいのではないのでしょうか。(他にもいろいろな事例があり、二つしかないように見える)</p>	<p>税の申告時における臨時窓口の活用については、一例として記載したところでありますが、ご意見を踏まえて、掲載について検討します。</p>
17	<p>P34 b窓口機能 階層配置として、窓口機能を1階に集約されるのであれば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園申込(教育委員会子ども課)を加えることが必要と考えます。</li> <li>・墓地・畜犬・ごみは、2階でもよいのではないかと考えます。</li> <li>・会議室数の確保、エレベーター・エスカレーター位置の検討も必要と考えます。</li> <li>・統計調査、選挙期日前投票、除雪対策本部設置により、会議室が長期間占有され利用不能となる。</li> <li>・市民に利用しやすい選挙期日前投票場所の検討。 (市民ギャラリーの有効利用、可動壁による投票場所の検討)</li> </ul>	<p>部署配置については、各部署の関連性や来庁者数などを参考として、決定していきます。 会議室数の確保については、長期間占有する業務や利便性などを考慮し、配置していきます。</p>
18	<p>P13 デジタルサイネージの具体的な写真があるとよい。どのような情報を発信するのか、それが快適な待合環境にどう結び付くのかが一見すると理解しにくい。</p> <p>P33 「近隣への影響」～現在、来庁者駐車場へは中央通側と東山公園通側の2か所から入場できるが、A,B案では東山公園通からのみのアプローチになると考えられる。 東山公園通側は信号機設置のない出入口となることが想定され、混雑や入退場時の事故発生が懸念される。東山公園通への交通量の集中も含め、これらも近隣に影響を及ぼす要因として考慮した検討が必要ではないか。</p>	<p>デジタルサイネージの写真は、掲載について検討します。</p> <p>配置計画は、ご意見も参考に基本設計において決定していきます。</p>
19	<p>職員の出退表示を押釦やパネルタッチではなく、記名章等にICチップを埋め込み、庁舎内に入った時点で出勤等が連動し、表示が成される様なシステムがあるといいと思います。</p>	<p>出退勤管理は、セキュリティ機能と併せて検討してまいります。</p>

